



# 自治会ブロック対抗綱引き大会

## 綱引き大会(優勝)

### 男子の部 第4ブロック

降矢 新吉(第4ブロック長)

今大会において優勝し、役員及び選手一同大変に喜んでおります。大会実行委員及び協力者の皆様に心から感謝申し上げます。

第4ブロックは富士見丘小学校学区内の一般住宅、都営住宅、公務員住宅の10自治会で構成され、会員数は約200世帯です。

前回の市制施行50周年大会にも参加し、男子は予選敗退、女子は4位入賞と悔しい結果に終わりました。役員一同、今年こそはと臨みました。しかし、少子高齢化が加速している地域のため選手の選出には大変苦労しました。自治会役員が一人また一人と頼み歩いたり、役員自らが選手になったりしてチームを作ることができました。

練習は富士見丘小学校の体育館をお借りして日曜日に2時間程3回行いましたが、男女とも参加者は数名で不安は増すばかりでした。地域の体育指導委員や公式大会参加経験者の指導を受け、綱の持ち方や引き方などを練習するうちに、「綱引き」と甘く

力が入っています。見事☆男子の部優勝



見ていた選手たちの顔つきも変わっていき  
ました。

大会当日。選手が一同に揃ったのはこの  
日が初めてでした。選手一人一人が自分の  
ポジションを守ると決意し、休憩時間には  
次の試合のために研究し、心一つにして  
挑戦したことが勝因だと思います。また、  
応援してくださる方々の体育館に響く声援

や歓声、控室での励ましは選手たちのエネ  
ルギーとなりました。

喜びの中での反省会では、選手のご家族  
や地域の方々も駆けつけてくださり、初対  
面の方々が多い中、旧友のように談笑が続  
き、疲れを忘れるひと時となりました。

これからも自治会相互の親睦を深めなが  
ら、地域住民がつながりと信頼を深めてい  
く住み良い町づくりを目指したいと思いま  
す。

### 女子の部 第16ブロック

土居 美和子(監督)

16年度の市制施行50周年記念行事とし  
て行われた綱引き大会ですが、参加者の「せ  
ひ、恒例行事に…」という声が生かされた  
ようです。

我が16ブロックは、男女ともにインスタ  
ントチームであり、体育指導委員さんは苦  
勞されたことと思います。

しかし、チームワークは抜群であり、特  
に女子チームは、高校生まで参加してくれ  
て、その明るさと元気を分けてもらって、  
二年連続優勝を果たすことができました。  
日頃から地域の行事には若い力があり、

また、受入れるおじさん、おばさんもその  
声に耳を傾けられる。そんな地域だからこ  
のチームワークが生まれるのだと思います。

最近、この田中町で生まれ育った子供た  
ちが成長して家庭を持ち、またここに戻っ  
てくるといふことが多くなっているようで  
す。その力もまた生かして欲しいと思いま  
す。

まだまだ二連勝！来年度は男子チームに  
も頑張ってもらって、アベック優勝を目指  
します。

そして、女子チームは五年連続優勝を目  
指して頑張りたいと思います。



やったあ！優勝よ！！

第105回市民健脚つくり抜け抜け健脚

齋藤 礼子(玉川小地区・1期目)

今回は、120名で昭島駅近くのつつじが丘南小学校を出発、瑞穂スカイホールを目指しました。前回は健脚コースだったので、比較的平坦なコースにしました。南小から北へ北へと進んでいき、新青梅街道を渡り、水道道路のとても歩きやすい道を通り、ひと休み。野山北公園自転車道を行き、青梅街道を横切っていくと歴史資料館が見えてきました。かたくりの湯の大きな建物も見え、温泉に入りたいなあなんて考えながら、野山北公園に入っていました。ミニ牧場の小さな動物たちに迎えられ、六道山公園のアスレチックの脇の山道を登っていくと野外コンサート場があり、実踏のときには演奏が公園中に響きわたり、独特の雰囲気味わうことができました。しばらく行くと、昼食場所の里山民家に着き、民家の中でも食事ができましたが、民家を背景に、昔の人はこういう風に暮らしていたんだなあと感じながら、昼食をとり、とても気持ちの良い時を過ごしました。

午後のコースでは、実踏で来たときの稲穂がすっかり刈り取られ、季節の移り変わりを感じました。雲行きがだんだんあやしくなってきましたが、おいしいお昼も食べ元気な足取りで、お伊勢山遊歩道の少し急な上り坂を黙々と登り、終点の高くそびえ

たつ瑞穂スカイホールに着き、15kmという距離を楽しみながら歩くことができました。次回も多数の方の参加をお待ちしています。



風景をすませ、いざ出発 (里山民家をあとに)

総合型地域スポーツクラブまで

とんぼスポーツクラブまで

石川 英次(玉川小地区・3期目)

初めて聞く人もいるかもしれませんが、「総合型地域スポーツクラブ」とは、毎日生活している地域の中で、いつでも、いつまでも、だれでもスポーツが楽しめる、地域のみなさんの手づくりによる、新しいタイプのスポーツクラブのことです。

「休みの日にスポーツをしたいけど場所がない」「やりたいスポーツがあるけどメン

バーが足りない」「遊びたいけど仲間がない」「習いたいけど指導者がいない」など困ったことはありませんか。このような悩みにも「総合型地域スポーツクラブ」は答えられます。

では、どのようなクラブなのか、ちょっとのぞいてみましょう。

(1) いろいろなスポーツが楽しめる  
一つのスポーツをずっとやるのもいいけれど、いろいろなスポーツをやってみたいと思いませんか。多目的のスポーツがそろっていて、自分のやりたいスポ



市内市のスポーツアムにて遊戯 (調和SHC)

ーツを楽しめます。曜日や季節を変えて楽しむこともできます。

(2) いろいろな人たちと楽しめる  
同じ年代はもちろん、年代のちがうお兄さん、お姉さん、ちがう学校の友だちなど、たくさんの人たちとスポーツを楽しめます。また、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんなど大人の人たちとも楽しめます。

(3) いろいろな目的・レベルで楽しめる  
体をおもいっきり動かしてみたい、うま

くなりしたい、友だちをつくりたいなど、人によりちがう目的で楽しめます。まだやったことがなくこれからはじめたい、いままでもやってきたけどもうまくならないなど、人によってちがうレベルでもスポーツを楽しめます。

(4) ずっと・いつまでも楽しめる  
小学校から中学校、高校などへと学校がかわっても、大人になって仕事をできるようになっても同じクラブで続けることができます。成長の時期やレベルにあった指導がしてもらえます。歩いたり、自転車で行けたり、家の近くにあるなど行きやすいのも特長です。

(5) みんなでつくるクラブ  
いつでも、いつまでも楽しめる「総合型地域クラブ」は、地域の人たちがみんな力をあわせてつくっていくクラブです。このクラブには、いろいろな人たちが集まっているので、スポーツ以外の「みんなが知らない遊び」、「近所の昔のできごと」、「ま

ちの将来のこと」なども教えてもらえます。いま全国各地でクラブがつけられています。昭島市でも「スポーツ振興計画」を策定し、「総合型地域スポーツクラブ」設立の準備をすすめています。

